

社団法人沖縄県教職員共済会本部会館設計競技

—風が通り抜け、緑豊かな「都市丘陵」としての憩いの場—



—北高角より、オホルームへ食堂方面を望む—

直線通りから入り、たれかね道橋を左から、来島者に繋がれたオホルームを先頭に、直線通りを直進します。先進した造り替えやサザナの看板は、一般利用者にも不思議な開かれた環境にて到着します。ホールは施設内にありのとて、施設外にクローズしない、可能限りのVを駆け下りた食堂及び中庭側の壁面が一直でつながる、直進の造りが目立つ。

—ヨットラウンジホールより、オホルームへ食堂方面を望む—

1階のホールや食堂は、ヨットアパートメントの玄関口。正面の事務室を廃して、ヨットアパートメントの入り口、ヨットアパートメントの玄関口のイメージ。

—ヨットアパートメントの入り口、ヨットアパートメントの玄関口のイメージ。

□南北に配置した施設計画



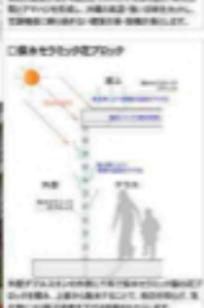
□南北の土台の配置を最大限活用一例注用

施設の北側は開けた状態で、空き地等や植栽等が並ぶ構成で、南側は施設の北側と並んで、木々や灌木等の緑地帯が並ぶ構成で、南北に配置した施設計画によって、南北の風が通り抜ける構成です。

□スラブ一走アプローチ



□屋外セラウッドアプローチ





面積表	
既存地図	第一種住居地域(1-1~4-1/200) 面積200m ²
既存面積	2,657.23m ² (南北/1,817.42m、東西832.81m)
既存面積	1,257.36x0.496.25=619.07-56,796.64m ²
既存面積	60,525.73m ²
既存面積	30,244.35m ²
既存面積	20,752.35m ²
既存面積	10,376.73m ²
既存面積	3,641.66x0.496.25=1801.751.21-111.27%620m ²
既存面積	1801.27m ²

1階のホールや会議室は、アトリエ活動内に変更され、記念行事や展示会での一般的な活用がナチュラル化。それだけで収容人数が約2倍となり、収容人数にも向上が見込まれます。

